

霞ヶ浦北浦のさかなたち

在 来 魚 (昔から霞ヶ浦・北浦にいた魚)



ワカサギ (～15cm)

霞ヶ浦北浦を代表する魚です。昔は帆びき網漁業、今は主にトロール漁業で漁獲されます。

1～2月に水深1m前後の砂地に産卵します。



シラウオ (～10cm)

生きている時は透明な魚で、霞ヶ浦北浦では「シラス」とも呼ばれます。トロール、さし網漁業で漁獲されます。

3～4月に水深1m前後の砂地に産卵します。



テナガエビ (～10cm)

オスの一部は第2脚が体長よりも長くなることから、この名前が付けました。

産卵期は6～9月で、幼生は浮かんで暮らし、大きくなると水底で暮らします。



ヌマチチブ (～10cm)

ハゼの仲間で、霞ヶ浦北浦では他のハゼ類とあわせて「ゴロ」と呼ばれています。ハゼ類は腹ビレが吸盤状になっています。

5～8月に岸辺の石の下などに卵を産み付けてオスが卵を守ります。



コイ (～100cm)

日本産淡水魚で最も大きくなる魚で、霞ヶ浦北浦では1mを超えるものもすんでいます。養殖のコイは野生型よりも体高が高く、成長が早い特長があります。

産卵は5～6月で、岸辺の水草などに卵を産み付けます。



ウナギ (～100cm)

シラスウナギと呼ばれる時(約6cm)に海からのぼって、湖や川で5～12年を過ごし、秋に産卵のために海にくだります。産卵場は、日本から2000kmもはなれたフィリピンのはるか東方沖にあります。



ニゴイ (～60cm)

コイに似ているためこの名前が付いたとされていますが、コイよりスマートなこととヒゲの数で区別できます(コイ：4本、ニゴイ：2本)。

5～6月に流入河川の砂れき底に産卵します。



ギンブナ (～25cm)

関東地方にはオスはいませんが、卵は他の魚の精子の刺激によって発生します。

産卵は3～7月で、卵を岸辺の水草などに産み付けます。



アユ (～30cm)

清流の魚として有名です。霞ヶ浦北浦では1992年(平成4年)から多く見られるようになりました。9～11月に流入河川の砂れき底に産卵し、ふ化すると霞ヶ浦北浦にくだって冬を過ごし、春から夏に河川にのぼります。

※()内は標準的な体長を示します。

国内外来魚 (日本国内の他の湖などから来た魚)



ゲンゴロウブナ (ヘラブナ) (~40cm)

1930年(昭和5年)に、琵琶湖の親魚からとった卵を土浦地先に放流したのが、霞ヶ浦に入った始まりです。4~6月の大雨の後に大量に産卵し、産卵場は他のフナより深い所に集まっています。



ビワヒガイ (ヒガイ) (~20cm)

霞ヶ浦北浦に琵琶湖産のヒガイが初めて放流されたのは1918年(大正7年)です。4~6月に生きた二枚貝(イシガイ、ドブガイ、カラスガイなど)の中に産卵します。



ハス (~30cm)

霞ヶ浦北浦で初めてとれたのは1962年(昭和37年)で、琵琶湖産のハスが利根川で増えた後に入ってきて繁殖したと考えられています。コイ科魚類ではめずらしく魚食性です。6~8月に流入河川の砂れき底に産卵します。

国外外来魚 (外国から来た魚)



チャネルキャットフィッシュ(アメリカナマズ) (~100cm)

原産地は北アメリカで、日本には1971年(昭和46年)に養殖目的で輸入したのが最初です。産卵期は5~7月で、物かげなどに産卵床をつくり、オスが卵と仔魚を守ります。エビやハゼなどを食べます。背ビレと胸ビレにするどいトゲがあり、つかむときは要注意です。



ブルーギル (~25cm)

原産地は北アメリカで、日本には1960年(昭和35年)に静岡県の一碧湖に放流されたのが最初です。今では日本各地に生息しています。産卵期は6~7月で、オスが水底に浅いくぼみ状の産卵床をつくった後、メスが産卵します。オスは卵と仔魚を守ります。動物プランクトン、エビ、小魚などを食べます。



オオクチバス(ブラックバス) (~50cm)

原産地は北アメリカで、日本には1925年(大正14年)に神奈川県のアサノ湖に放流され、今では日本各地に生息しています。ルアー釣りの対象魚として有名です。産卵期は5~7月で、ブルーギルと同じような産卵行動をとります。小魚、エビなどを食べます。



ペヘレイ (~45cm)

原産地は南アメリカで、日本には1966年(昭和41年)に神奈川県津久井湖に放流されたのがはじめてです。霞ヶ浦では1988年から生息が確認されています。ペヘレイという名前はスペイン語で「魚の王様」という意味です。産卵期は4~5月で、卵を岸辺の水草などに産み付けます。



ハクレン(レンギョ) (~100cm)

原産地は中国で、1943年(昭和18年)に、ソウギョの稚魚を輸入した際に混ざってきたものとされています。6~7月の大雨の後、河川が増水した時に埼玉県栗橋町付近の利根川で産卵します。